

会 議 録

会議の名称	平成28年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク 第1回全体会議
開催日時	平成28年12月8日(木) 15時から17時まで
開催場所	飯塚市役所4階 研修室
出席委員	許斐委員、廣瀬委員、臼井委員、丸野委員、金子委員、藤原委員、藤嶋委員、 貝嶋委員、横山委員、辻田委員、山梨委員、森部委員、坂本委員、江藤委員
欠席委員	松本委員
事務局職員	木本・渡邊(飯塚市社会・障がい者福祉課)、末次・末田(嘉麻市社会福祉課)、 川野・栗山(桂川町健康福祉課)、彦田・真田(障がい者生活支援センターさん・あび)、 寺敷・森田(障がい者生活支援センターかさまつ)、因幡・石本(障がい者相談支援センターたいよう)、 小野(相談支援センターフォスク)、小出(障がい者生活支援センターBASARA)
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定刻に至り会の成立を認め、飯塚市福祉部長代理社会・障がい者福祉課課長補佐よりあいさつ ・事務局より資料2「飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク(以下ネットワーク)について」を説明 ・会長、副会長の互選を行い、会長に丸野委員、副会長に辻田委員が選任 ・事務局より委嘱状及び報酬、会議の公開及び傍聴(資料1)について連絡 <p>議 題 (1) ネットワークの説明</p> <p>【事務局】資料3「規約」、資料4「イメージ図」について説明</p> <p>【委員】分かりやすい資料だが、当日に読んで理解を求められても難しい。資料はメールや郵送その他の方法で事前配布をしてもらいたい。全体会議が年1回の招集となっているが、評価をしていく必要があると思うので最低2回は開催をお願いしたい。</p> <p>【事務局】次回からは事前配布を行う。また、全体会議の回数については原則1回となるが必要に応じて複数回開催する。</p> <p>議 題 (2) 今後の進め方</p> <p>【事務局】資料5「サービス管理責任者等意見交換会についての報告」、資料6「意見交換会企画案」について説明</p> <p>【会長】意見交換会はネットワークの組織図の中に位置づけられるものなのか。ネットワークの事業として行うものなのか。</p> <p>【事務局】ネットワーク図の運営会議の中に地域課題の集約・整理・分析(意見交換会)としており、その中で広く意見を出してもらいながら、課題が明確</p>

になった場合に専門部会でメンバーを決めて課題解決に向けた具体的な取り組みを実施する基本になるような会としたい。

議題(3) 専門部会の設置

【事務局】資料7「相談支援部会の設置について(提案)」を説明

【委員】今後については部会化した方がいい。相談支援の現状をみていると本質からずれており、利用者の気持ちが反映されていない計画になっている。兼務でしている相談員がどのくらい中立性が保てるか、当事者はおそらく本音は言えないと思う。制度上の落とし穴ではあるが、対策を考えなければいけない。(資料6意見交換会企画案について) アンケートの怖さを知ってほしいと思う。アンケートが正当なものであるのか、誘導になってないかなど第3者委員を入れるなどした方がいい。

【委員】専門相談員の話とは思うが、我々は市から委託され家族相談員として活動を行っており、専門職ではないが障がい者対応の経験があるので、何らかのかたちで相談支援専門員と共有していきたいと思っている。相談支援専門員の数が絶対的に足りず、相談員が疲弊している現状があるので、我々がサポートできることがあると思う。相談支援部会や研修会に参加、もしくはオブザーバーとして参加をさせてもらえようをお願いしたい。

【委員】知的の場合は育成会が福岡県から委託を受けて、年2回研修会を企画している。グループワークなどをしており、市町村ごとに問題がある。

【委員】相談支援専門員の立場からだが、意見交換会で出た課題は全て権利擁護に通じるものであり、早く解決に向かわなければならないと思っている。今の連絡会は任意の集まりなので、兼任でされている方たちがなかなか出席することができない。ぜひ部会化してもらえたらと思っている。圏域の実情を知っていただき相談にのっていただいた方がいいと思うので構成員として加えるということを前向きに検討していきたい。

【事務局】資料8「就労支援部会設置に向けての動き」について説明

【委員】補足ですが、以前の部会は課題を解決したので解散になった。就労には移行事業所だけでなく、就労A型、B型など福祉的就労もある。そこを含めて一緒に課題解決した方がいいのか引き続き検討をしていきたいと思う。形が見えてきたら提案をさせてもらいたい。

その他

(1) 飯塚市障がい者基幹相談支援センターの設置について

【事務局】資料9に基づき基幹相談支援センター設置に向けて報告

【会長】7月に向けてということだが順調にすすんでいるのか。

【飯塚市】嘉麻市、桂川町と併せて議会の委員会等に報告して概ね理解いただいている。予算編成を今後詰めていく。

【委員】権利擁護は専門家など置かないと、困難事例など解決できない。県や

	<p>制度改正の動きを視野に入れながらやらないと立ち上がったとしても何も機能しないことになりかねない。</p> <p>(2) 神奈川県障害者自立支援協議会からのメッセージ 【事務局】 資料10 相模原市自立支援協議会からのメッセージを報告。</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて 【事務局】 本会議の内容は各市町のホームページや支援センターだよりなどにおいて報告する。また、本ネットワークについても、福祉事業所の他、関係機関に案内を送付するなどをして周知を行う。次回の開催は来年度の早いうちにみなさんのスケジュールを調整し開催する。</p> <p>閉会</p>
<p>会議資料</p>	<p>資料1 飯塚圏域障がい者自立支援ネットワークの会議の公開に関する基準</p> <p>資料2 飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク（自立支援協議会）について ～これまでの経緯と今後の体制について～</p> <p>資料3 飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク規約</p> <p>資料4 飯塚圏域障がい者自立支援ネットワークイメージ図</p> <p>資料5 サービス管理責任者等意見交換会についての報告</p> <p>資料6 意見交換会企画案～医療的ケアの必要な方の暮らしを考える会～</p> <p>資料7 専門部会の設置について（相談支援部会）</p> <p>資料8 就労支援部会設置に向けての動き</p> <p>資料9 障がい者相談支援事業にかかる今後の取組について（案） ～基幹相談支援センターの設置～</p> <p>資料10 メッセージ～共生社会の実現に向けた自立支援協議会の役割 津久井やまゆり園の事件を受けて</p>
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 （傍聴者 なし）</p>
<p>その他</p>	